

FRBは24年12月のFOMCで3会合連続の利下げを決定したものの、パウエル議長は先行きの利下げに慎重姿勢を示す



米国経済

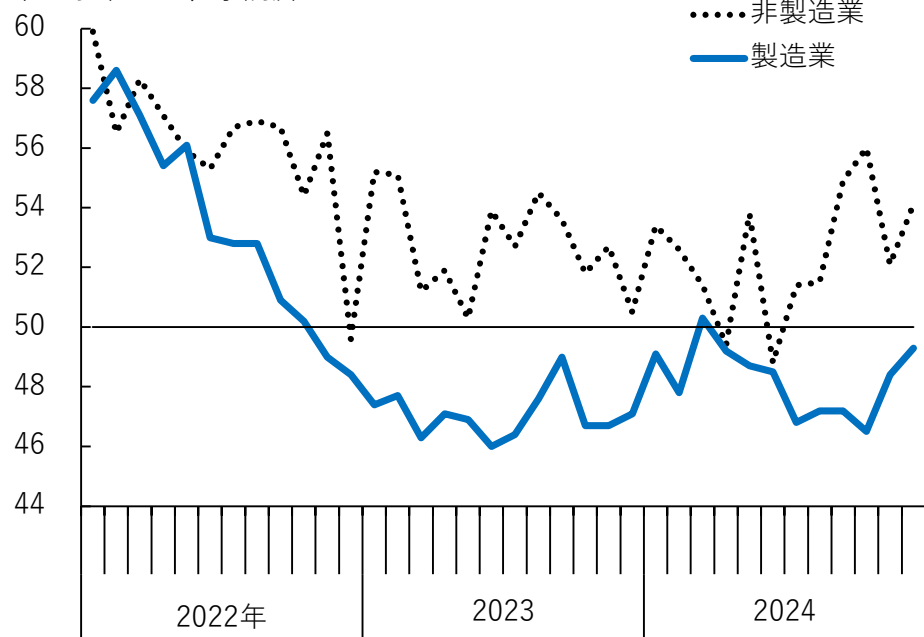
- 24年12月のISM（米供給管理協会）の製造業景況指数は49.3（11月は48.4）と2か月連続で上昇した。好不調の分かれ目となる50を9か月連続で下回ったものの、9か月ぶりの水準に回復した。
- 12月の非農業部門雇用者数は前月比25.6万人の増加と、11月（同21.2万人増）から伸びが拡大した。一方、12月の失業率は4.1%と、11月から0.1%ポイント低下（改善）した。
- 11月の実質個人消費は前月比+0.3%と10月の同+0.1%から伸びが加速し、7か月連続で増加した。
- FRBは12月のFOMCで0.25%の利下げを決定した。ただパウエル議長は会見で、「（利下げの）プロセスは新たな段階に入った」と明言。金融引き締めが大幅に緩められたとして「政策金利のさらなる調整を検討する際には、より慎重になることができる」と強調した。

12月のISM景況指数は製造業、
非製造業ともに上昇

- 24年12月のISM（米供給管理協会）の製造業景況指数は49.3（11月は48.4）と2か月連続で上昇した。好不調の分かれ目となる50を9か月連続で下回ったものの、9か月ぶりの水準に回復した。
 ー内訳の指数をみると、新規受注が52.5と前月の50.4から上昇し、2か月連続で節目の50を上回った。
 一方、雇用は45.3と前月の48.1から低下した。
- また12月の非製造業景況指数は54.1と前月の52.1から上昇した。価格指数が64.4と前月の58.2から大幅に上昇し、23年2月以来の高水準となった。一方、雇用指数は51.4と前月の51.5から若干低下した。

ISM景況指数

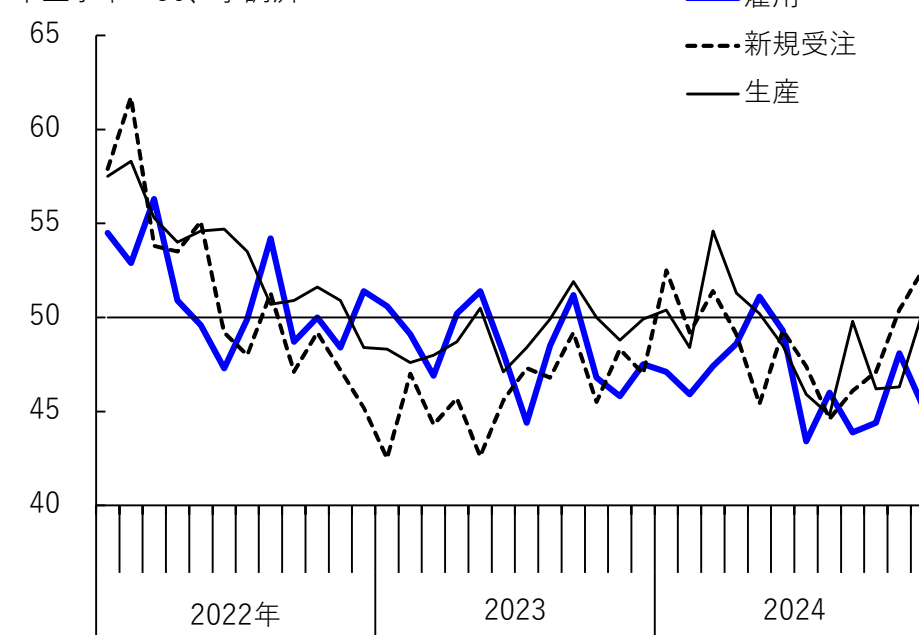
中立水準 = 50、季調済



出所：ISM

ISM製造業景況指数の主要な内訳

中立水準 = 50、季調済



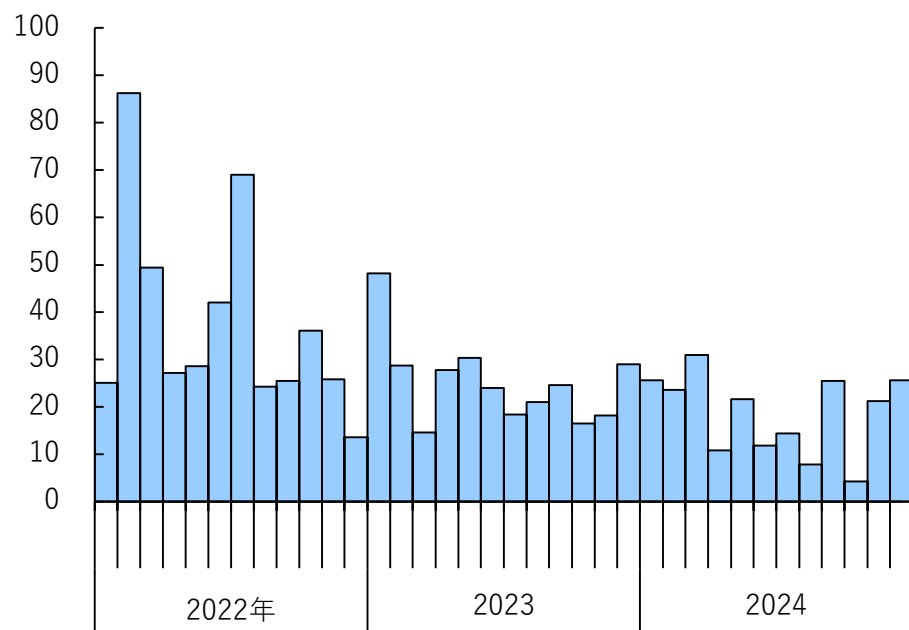
出所：ISM

12月の非農業部門雇用者数は増加
幅が拡大

- 12月の雇用統計によると、非農業部門雇用者数は前月比25.6万人の増加と、11月（同21.2万人増）から伸びが拡大した。
 - －業種別には、民間サービス業の雇用が前月比23.1万人増と前月（同14.8万人増）に比べて増勢が拡大した。一方、製造業の雇用は同1.3万人減と再び減少した。
- 12月の失業率は4.1%と11月から0.1%ポイント低下。また12月の時間当たり平均賃金は前年比+3.9%と、11月（同+4.0%）と比べて若干伸びが鈍化した。

非農業部門雇用者数

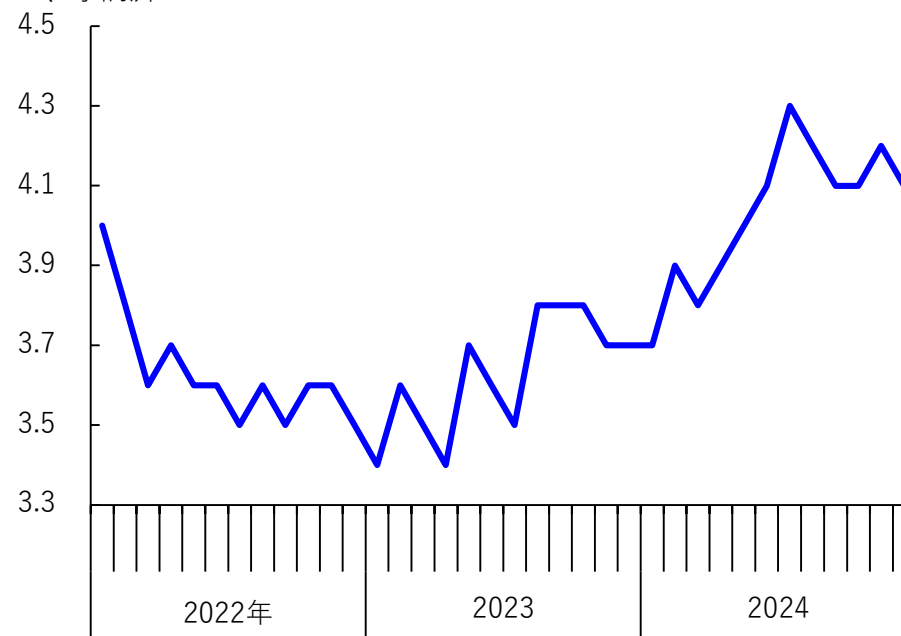
前月差、万人、季調済



出所：米労働省

失業率

%, 季調済



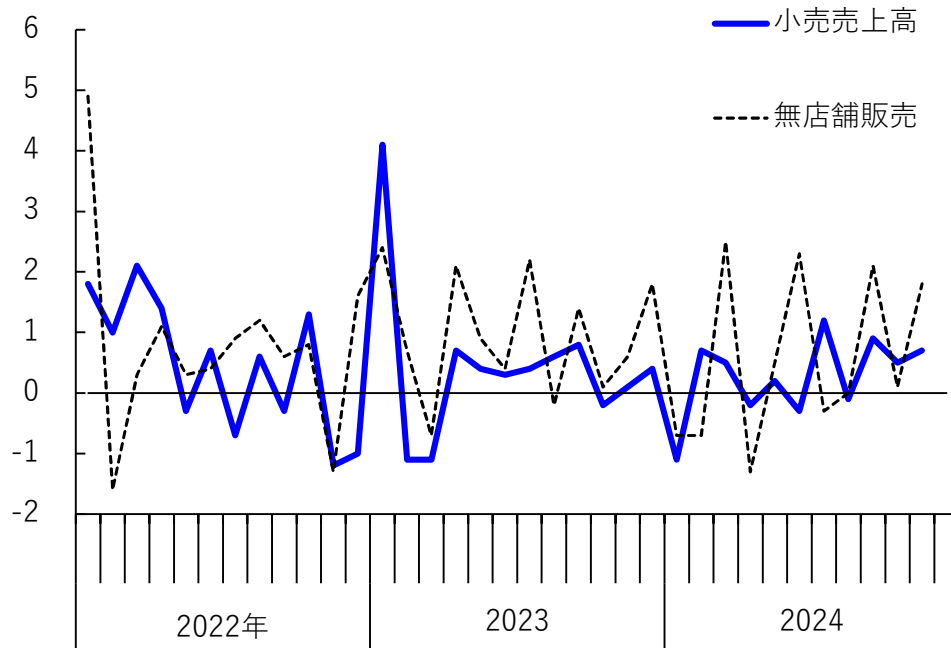
出所：米労働省



- 11月の小売売上高は前月比+0.7%と3か月連続で増加した。
 - ー自動車・同部品の販売が前月比+2.6%と大幅に増加した。またネット通販などの無店舗販売も同+1.8%と大幅に増加した。
- 11月の実質個人消費は前月比+0.3%と10月の同+0.1%から伸びが加速し、7か月連続で増加した。
 - ー内訳をみると、サービス消費は前月比+0.1%と10月の同+0.2%からやや減速した。一方、財の消費は同+0.7%と大幅に増加した。

小売売上高

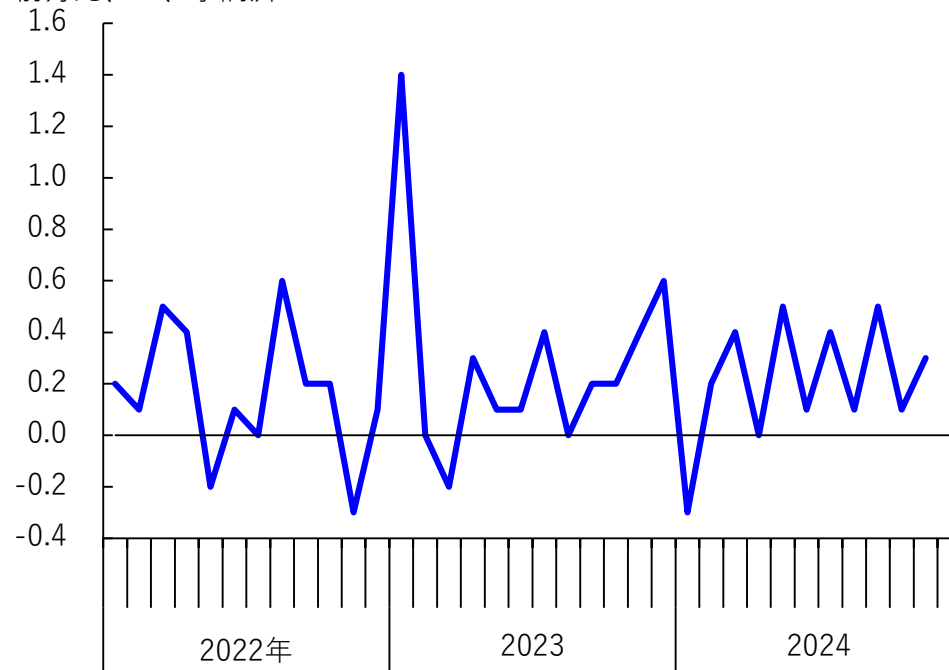
前月比、%、季調済



出所：米商務省

実質個人消費

前月比、%、季調済

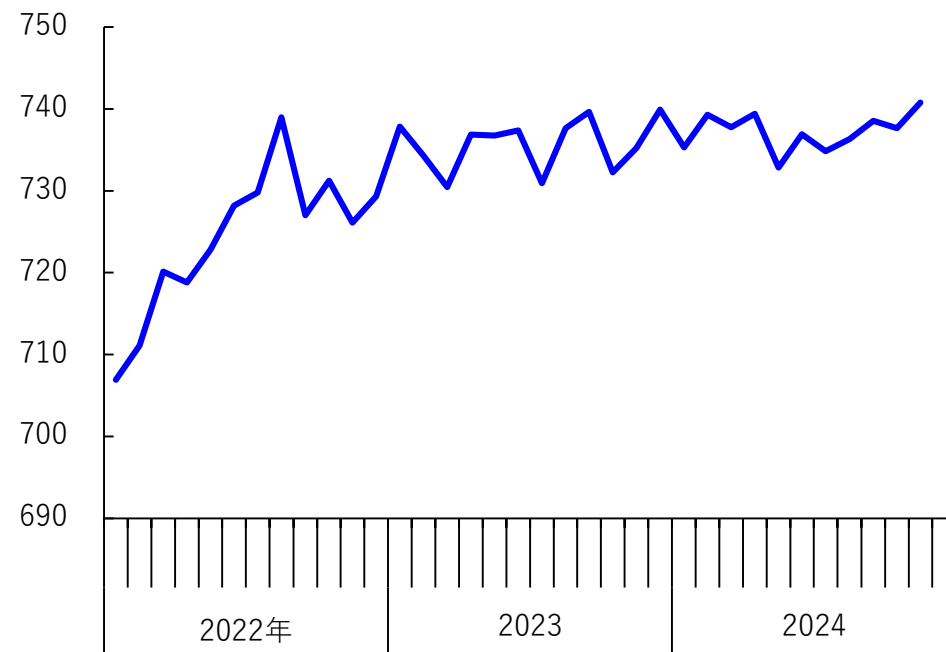


出所：米商務省

- 設備投資の先行指標となるコア耐久財受注（航空機を除く非国防資本財）は11月に前月比+0.4%と、再び増加に転じた。
- 11月の鉱工業生産指数は前月比-0.1%と、3か月連続で低下した。
 - － 製造業の生産指数は同+0.2%と上昇に転じたものの、電力や天然ガスなどの公益事業が同-1.3%、鉱業が同-0.9%と低下した。

コア耐久財受注（航空機を除く非国防資本財）

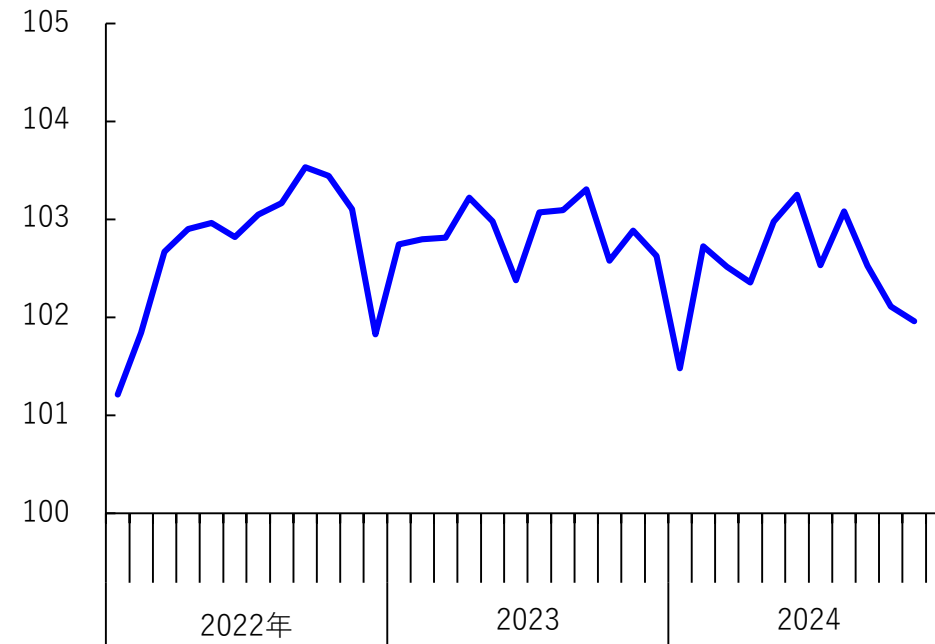
億ドル、季調済



出所：米商務省

鉱工業生産指数

2017年=100、季調済

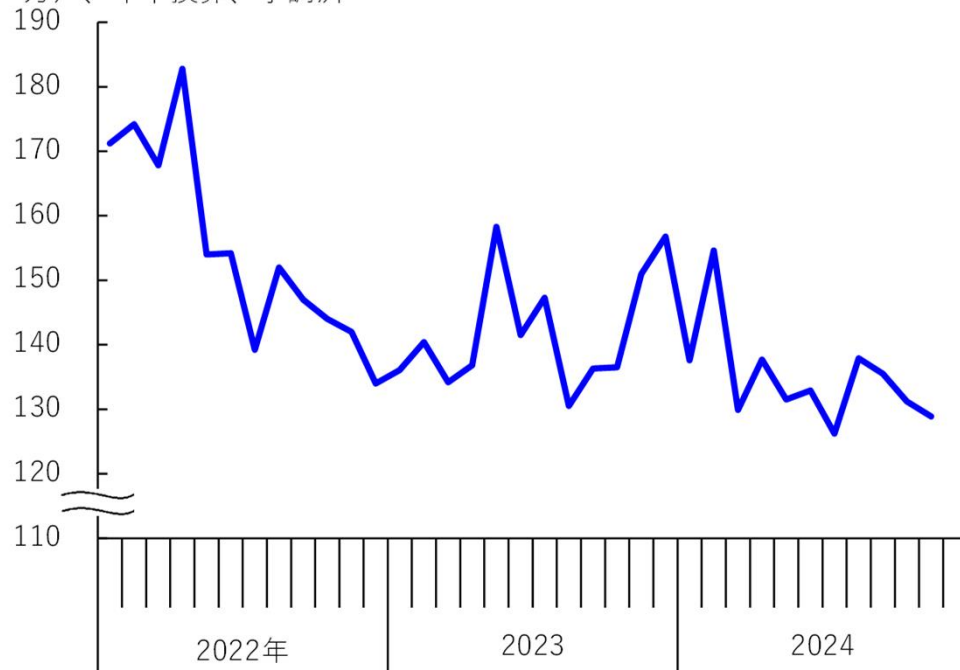


出所：F R B

- 11月の住宅着工件数(年率換算)は128.9万戸（前月比-1.8%）と3か月連続で減少した。
 - ー内訳を見ると、アパートなど集合住宅が前月比-23.2%と大幅な減少に転じる一方で、一戸建て住宅が同+6.4%と再び増加した。
- 一方、11月の中古宅販売件数(年率換算)は415万戸（前月比+4.8%）と2か月連続で増加した。また、同月の中古住宅の販売価格（中央値）は前年比4.7%上昇し、40.61万ドルとなった。

住宅着工件数

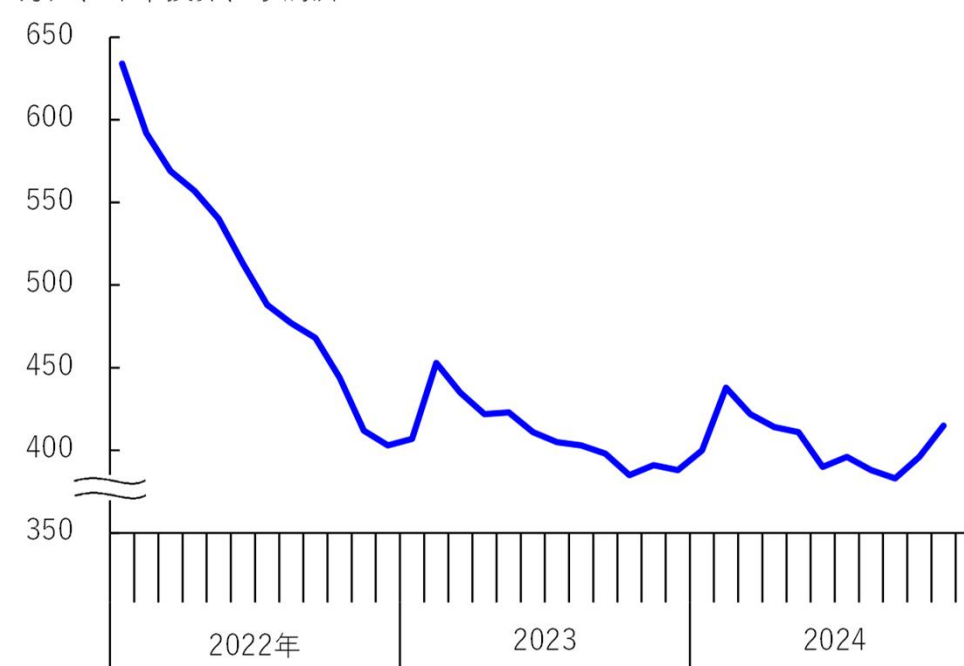
万戸、年率換算、季調済



出所：米商務省

中古住宅販売件数

万戸、年率換算、季調済



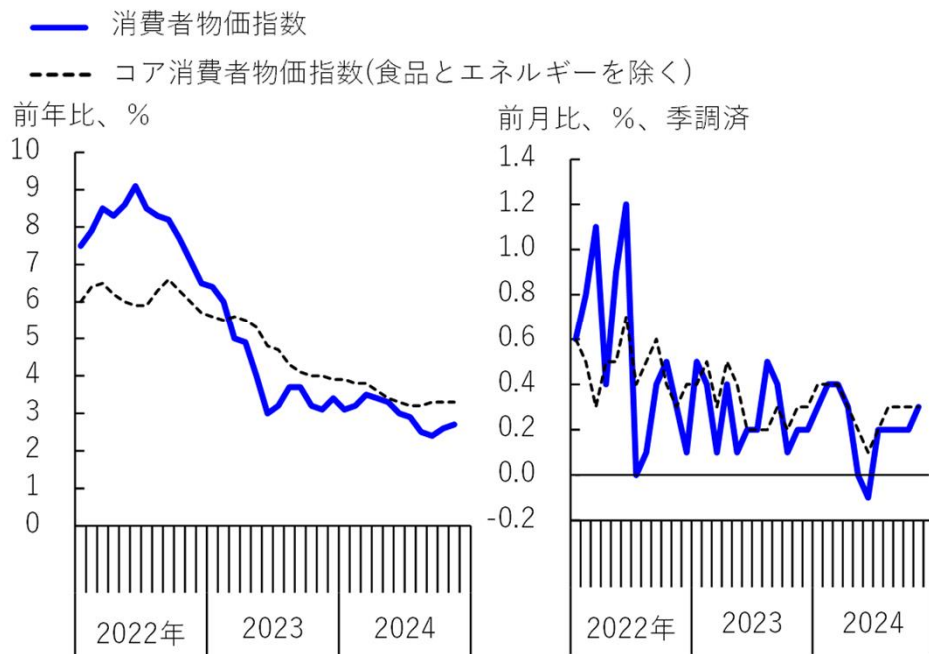
出所：米商務省

11月のコア個人消費支出物価指数の前月比伸び率は鈍化



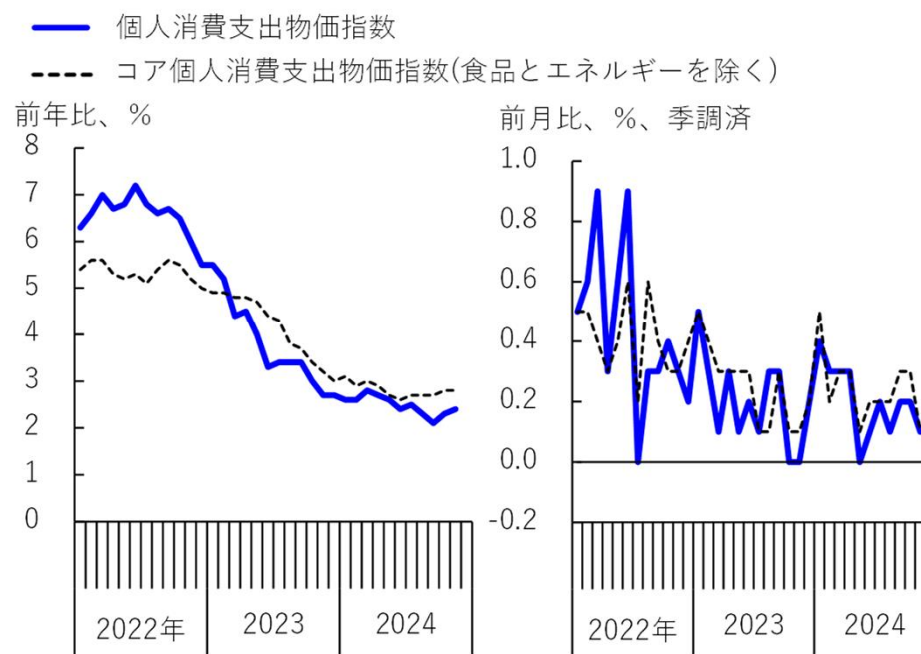
- 11月の消費者物価指数は前年比+2.7%と、前月の同+2.6%から伸びがやや加速した。他方、変動の大きい食品とエネルギーを除いたコア指数は同+3.3%と、10月と同じ伸びとなった。また前月比では全体の指数が+0.3%と10月の+0.2%から伸びが加速、コア指数が+0.3%と10月と同じ伸びとなった。
- －11月は住居費が前月比+0.3%と、10月の同+0.4%から伸びが鈍化した。一方、食品は同+0.4%と10月の同+0.2%から伸びが加速した。
- 11月の個人消費支出（PCE）物価指数は前年比+2.4%と前月の同+2.3%から伸びがやや加速した。また、食品とエネルギーを除いたコア指数は同+2.8%と前月と同じ伸びとなった。一方、コア指数は前月比では+0.1%となり、10月の+0.3%から伸びが鈍化した。

消費者物価指数



出所：米労働省

個人消費支出（PCE）物価指数

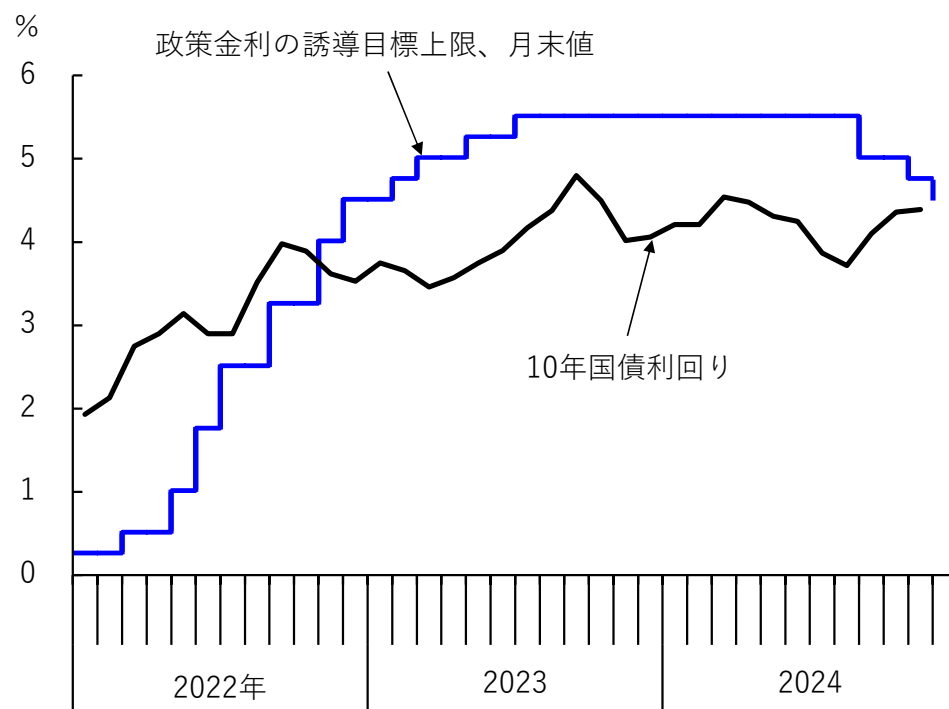


注：個人消費支出物価指数は、個人消費支出の名目値を実質値で割って算出される。

出所：米商務省

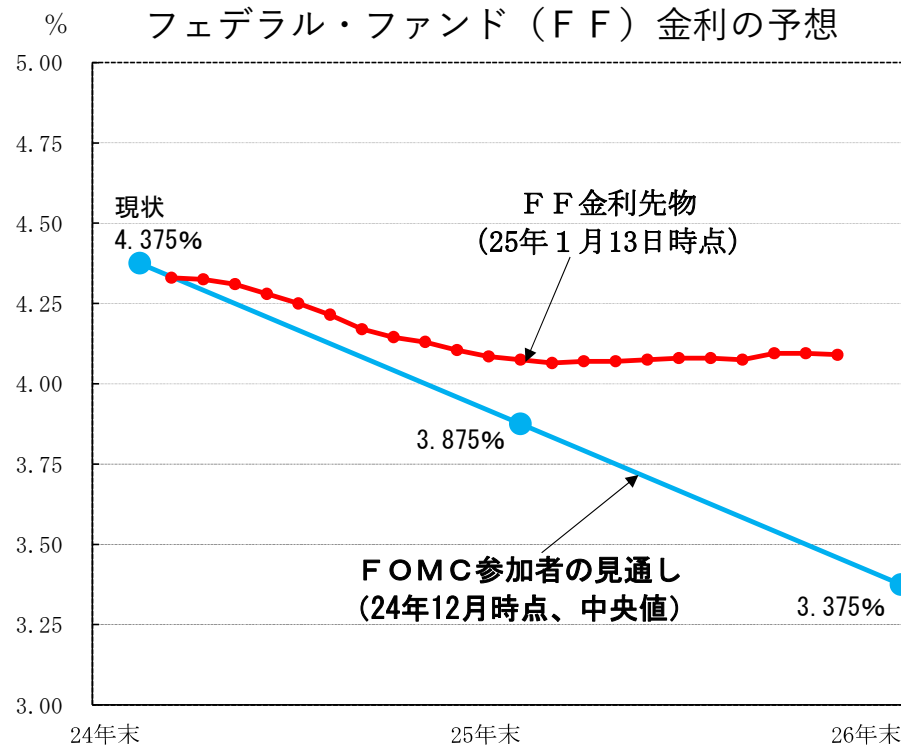
- FRB（米連邦準備理事会）は、12月17日～18日に開催したFOMC（公開市場委員会）で、政策金利であるフェデラルファンド（FF）金利の誘導目標を0.25%引き下げ、4.25～4.50%とすることを決めた。利下げは3会合連続。
 - FOMC後の記者会見で、パウエルFRB議長は「（利下げの）プロセスは新たな段階に入った」と明言。金融引き締めが大幅に緩められたとして「政策金利のさらなる調整を検討する際には、より慎重になることができる」と強調した。
- ー金利先物市場では、FRBが次回1月28日～29日のFOMCで政策金利を据え置くことを9割以上の確率で織り込んでいる。

政策金利の誘導目標と長期金利



出所：FRB

フェデラル・ファンド（FF）金利の予想



出所：FRB、Bloomberg



横浜銀行グループ

浜銀総合研究所



2025年1月14日
調査部 特任研究員
北田 英治

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5